

平成28年度 第1回生駒市子ども読書活動連絡調整会議 会議録（要約）

日 時： 平成28年8月2日（火）午後1時30分から

場 所： 図書会館 大会議室

【参加者】 岩崎れい、森岡伸枝、平井富久子、森田桂子、山中賢司、辻中伸弘、
吉川祐一、樋田良恵
(欠席) 莞牟田一美、藤原康成、新土和美

【事務局】 向田真理子、平澤佐千代、錦好見、清水淳子、廣松典子（以上図書館）

1 開会

2 案件

(1) 平成28年度事業計画（案）について

- ・昨年度は、鹿ノ台小学校、中学校の学校図書館を見学。20校に配置されている13名の学校司書も同行し、授業での学校図書館活用、学校司書の読み聞かせタイム等の実践を見て、早速その後の業務に生かされている。
- ・今年度は、小学校入学をひかえた子ども達が、学校生活への期待と安心を得るために、学校図書館、学校司書がどのように活用されているか、就学前の学校図書館訪問の様子を見学する予定。
- ・候補は、生駒幼稚園と生駒小学校の連携。生駒小学校は司書配置第1号。学校図書館の改修時には、公共図書館の司書を派遣。校長、図書館担当教諭、学校司書が中心になって図書室整備を行った。また、保護者による読み聞かせからスタートして、今ではOB会員も含む活動16年のボランティアグループ「としょっクス」が、今春「子ども読書活動優秀実践校」の文部科学大臣表彰を受けた。生駒幼稚園でも、保護者の読み聞かせグループが息の長い活動を続けている。

○見学の際に見ておきたいこと、持ち帰りたいものについて参加者の意見。

- ・生駒小学校には低学年図書室と高学年図書室がある。入学前の見学でそういう部屋があるということがわかれば、子ども達は入学を楽しみにできるのではないか。
- ・生駒小学校のボランティア「としょっクス」発行の新聞に興味がある。
- ・低学年、高学年と図書室を分けるメリットは、低学年の子が落ち着いて読書できるこ

と、デメリットは移行に個人差があるため、大人のサポート等が必要という点。

- ・低学年図書室に幼稚園児を招待する時、安全面の配慮はあるか。
- ・書架は壁に寄せ、比較的スペースをゆったり取っている。
- ・生駒幼稚園から生駒小学校そして中学校へと、それぞれの段階で子どもと本をつなぐ意識が教職員、保護者ボランティアに共有されており、公共図書館との連携もできている。

(2) その他

◎10月4日、5日の2日にわたって、大和郡山市立図書館との連携事業としてノートルダム清心女子大学名誉教授 脇明子氏の連続講座を開催する。

◎8月生駒市広報の特集の紹介

○ビブリオバトル・・・“本が人と人をつなげる図書館”を目指している。中学生が大人のバトルに参加するなど世代間の交流も広がる。生駒で全国大会も行われ、今年「Bibliobattle of the Year 2016 優秀賞」を受賞。

○学校図書室・・・学校司書を小、中学校に週2日～3日配置。子どもとボランティア、地域の人たちをつなぐ場になっている。

○耳で楽しむ本の会・・・高齢者、障がい者だけでなく、だれでも参加して耳から本を楽しむことができる。

○宅配ボランティア、本の修理ボランティア「Re-bornの会」等、図書館を支えるボランティア紹介

◎10月8日、22日、11月5日の3回にわたって「図書館とまちづくりワークショップ」を開催する。市民からの声を図書館運営に生かしたいと考えている。